予算決算委員会総務政策分科会会議録

招 集

令和7年1月22日（水）本会議休憩中 議会委員会室

出席委員（9名）

（分科会長）塚 田 佳 充 （副分科会長）矢田貝 香 織
稲 田 清 今 城 雅 子 大 下 哲 治 岡 田 啓 介
国 頭 靖 田 村 謙 介 土 光 均

欠席委員（0名）

説明のため出席した者

伊澤副市長

【総合政策部】佐々木部長

[交通政策課] 倉本課長 足立担当課長補佐 宮前係長

出席した事務局職員

松田局長 田村次長 田中庶務担当係長

傍 聴 者

安達議員 伊藤議員 岩崎議員 奥岩議員 津田議員 徳田議員 戸田議員
錦織議員 西野議員 又野議員 松田議員 森田議員 森谷議員 吉岡議員
渡辺議員

報道関係者0人 一般2人

審査事件

議案第1号 令和6年度米子市一般会計補正予算（補正第10回）のうち当分科会所管部分

~~~~~

午前10時15分 開会

○塚田分科会長 予算決算委員会総務政策分科会を開会いたします。

先ほど本会議で予算決算委員会に付託された議案のうち、当分科会の審査担当とされました議案1件について審査いたします。

議案第1号、令和6年度米子市一般会計補正予算（補正第10回）のうち当分科会所管部分を議題といたします。

当局の説明を求めます。

倉本交通政策課長。

○倉本交通政策課長 それでは、令和6年度米子市一般会計補正予算（補正第10回）のうち当分科会に付託された事業について説明させていただきます。予算説明資料の歳出予算の事業の概要1ページを御覧ください。

タクシー運転手確保支援事業の係る所要額として、270万円を計上しております。これは運転手不足に苦慮するタクシー事業者を支援するために運転手の求人、採用に際し、外部コンサルティングを活用される事業者に対しまして、資料に記載のと通りの補助を行

うものでございます。続きまして、令和6年度米子市補正予算書7ページの繰越明許費の表を御覧いただきたいと思っております。一行目に記載しておりますように先ほど説明しました、所要額270万円につきまして繰越をお願いするものでございます。説明は以上でございます。

○塚田分科会長 当局の説明は終わりました。

委員の皆様からの意見を求めます。

国頭委員。

○国頭委員 地方創生臨時交付金を全額充てるということの事業でありますけれども、公共交通としてタクシーの運転手さんの採用に対してってことなんですけれども、これは市内タクシー業者多々あると思うんですけれども、この270万っていうのは積み上げて、まずタクシー人材がなかなか採用できないから、こういった支援をしてもらいたいとかですね、タクシー業者から要望があったのか、全タクシー会社さんが全部乗っかる事業なのか、一部のタクシー会社さんがこれに乗っかって補助してもらいたいっていう話なのか、その辺についてお聞きしたい。

○塚田分科会長 倉本交通政策課長。

○倉本交通政策課長 積算した根拠の関係だと思います。米子市内にありますタクシー業者6社ございます。各社にヒアリングをした結果、積み上げたものになるんですけれども、タクシー会社さんの意向としては、意向があるということと、検討したいということも含めまして3社ございましたので、3社分の予算を積み上げたものとなっております。

○塚田分科会長 国頭委員。

○国頭委員 公共交通の人手不足っていうのは、タクシーだけに限らず全国的にはバスもあるんですけど、そっちのほうにはなくて今回はタクシーっていうことの意味っていうのはあるんですか。

○塚田分科会長 倉本交通政策課長。

○倉本交通政策課長 バスのほうの採用に関する御質問だと思いますけど、バス事業者に対する採用の支援っていうのは県のほうで手厚い補助金を実はもっておられまして、逆にタクシーのほうは採用のコンサルティングの関係とかは補助の対象となっておりませんでしたので、積極的にされる事業者に対して米子市としては支援していこうという趣旨で今回企画したものでございます。

○塚田分科会長 国頭委員。

○国頭委員 コロナの時だったかな。公共交通としてのタクシー事業者とかですね、支援っていうのはあったと思うんですけれども、人手不足っていうのは、どの業種も今起こっているところですので公平性っていうか、そういうのでみると、いつもタクシー業者さんだけよくでてくるっていう感じになってくると、不公平性も。なぜタクシー、それだけ本当に大変なのかとかですね、理由っていうのが必要になってくるかと思うんですけれども。その辺やっぱり公共交通だからっていうことで考えておられるのかどうか、部長、答弁ありましたら。

○塚田分科会長 佐々木総合政策部長。

○佐々木総合政策部長 タクシー業界の支援ということ、その必要性についてであります。国頭委員がおっしゃったとおり、まずは公共交通ということで市民の皆様方の足をし

っかり確保していくという視点は大切だと思っております、このたびも計上させていただいております。加えて申し上げますと、今インバウンド事情も含めまして非常に観光需要が増えてきてございます。来年度には台湾便ということで新たな需要も生れる可能性も高まってございますので、そういったものを手厚く対応していくという視点でも、このたび予算を組ませていただいたものであります。以上でございます。

○塚田分科会長 国頭委員。

○国頭委員 バスも自動運転っていうのがあると思うんですけど、先に行く中国だとか日本国内でもタクシーの自動運転もその次に待っているというような話もあります。将来的なことも考えながら、これ以外に支援ができるものがあれば、またそういったものも考えながら取り組んでいただきたいなと思っております。以上です。

○塚田分科会長 ほかございませんか。

今城委員。

○今城委員 内容のところ少し伺いたいんですけども、先ほど意向のあった3社っていうことで最長6か月間っていうことなんですけど、外部コンサルティング費用っていうところ、このコンサルティングの内容っていうのは各社違うものなのか、各社共同でやっていくものなのか、内容そのものはどんなものなのかっていうのを少し教えていただけますか。

○塚田分科会長 倉本交通政策課長。

○倉本交通政策課長 コンサルティングの内容については、各社それぞれで外部のコンサルティング会社と契約を結ばれるものですので、内容は異なってくると思います。コンサルティング会社がどのような事業されてるかっていうのも確認したところですね、各社それぞれ採用の戦略をまず立てて、戦略を実行する支援をしていくっていう流れになるというふうに伺っております。一律ではなくて各社にあった戦略を立てて進めていかれるというものと考えております。

○塚田分科会長 今城委員。

○今城委員 今回の予算については了解いたしましたけど、タクシー事業者さんとかから伺う話はやっぱり即戦力がほしいっていうところだとはよく聞くところですよ。なので即戦力がほしいっていうことに本当にきちんとコンサルティングの内容が合っているのかっていうことは、よく確かめてあげたほうが。お金は掛けました、でも結局、即戦力としての人が集まりませんでしたっていうのは、あまり意味がないっていうか、お金を掛けて意味がないっていうよりも求めているものに対して、どれだけ答えることができるのかっていうことは、寄り添ってあげたほうがいいかなって思うことと、即戦力っていうことになると市内でそれを育成することができないかって、これまでずっと何回も言ってきて、それができていないので現状になるっていうことは十分分かっているんですけども、そういうことも少し市としては考えていく。ベースとしてね、考えていくこともしていらっしゃると思うんですけど、じゃ具体的にどうするかっていうところが、見えてくるほうがいいかなっていうふうには思います。これは意見ですので、この予算に関してのことっていうよりも、むしろ全体的な公共交通の担い手っていうところについて、どうするかっていうところは、どこまでも一緒に考えていかんといけんかなっていう気持ちにはなりますので。そこはぜひ、よろしく申し上げます。以上です。

○塚田分科会長 ほかございませんか。

土光委員。

○土光委員 先ほどの答弁で、ヒアリングをして実情を踏まえて、この事業を計上したってということですが、ヒアリングして、今のタクシー事業者の現状というか。ヒアリングの内容になります。少し説明していただけないか。この事業がなぜ必要かということに関することだと思いますので。

○塚田分科会長 倉本交通政策課長。

○倉本交通政策課長 タクシー会社のヒアリングの内容ということでございます。タクシー会社さん各社、それぞれ車両を保有されておりますけれども、通常ですと一台の車両を複数人、3人か4人でシフトを組んで、ローテーションで使っておられます。保有台数の3倍、4倍の運転手がいるのが常にフル稼働できる状況なんですけれども、今実態を伺いますと保有の台数が6社で今159台保有しておられますが、それに対して運転手が222人が現状でございます。従いまして1.4倍くらい。言い方があれですけど、車が遊んでいる時間が出てきてしまっている。それをしっかり回していくためには、さらに運転手が必要だということヒアリングいたしました。

○塚田分科会長 土光委員。

○土光委員 運転手を確保したいということで、例えば実際募集しても全然集まらないとか、そういう現状があるということですか。

○塚田分科会長 倉本交通政策課長。

○倉本交通政策課長 運転手の募集の状況なんですけれども、コロナ禍でかなり厳しい状況であったと伺っております。コロナ明けてからは若干回復といたしますが、採用できてるっていうお話も伺うんですが、まだまだ足りていないということです。希望する人数ほどは採用できていないっていう状況を伺っております。

○塚田分科会長 土光委員。

○土光委員 募集しても集まらない理由として、米子のタクシー会社をなかなか選んでもらえない、そういった状況があるのか、そもそもタクシー運転手自体の全体数が不足しているから集まらないのか、その辺のところはどう状況を踏まえていますか。

○塚田分科会長 倉本交通政策課長。

○倉本交通政策課長 これについては認識していることも入ってくるんですけども、今、人手不足っていうのはタクシー業界に限らず全体の問題でございますので、そもそも人手が足りてないっていうところが、まず一点あるっていうことと、タクシー会社が今、通常の募集でされてますが、ハローワークであったり、就職の合同説明会ですとか、実態として採用活動のほうに手が回ってないっていう状況もあるというふうに伺っています。形式的にはされてるんですが。本来ですと、もっと力を入れて積極的なリクルーティングをしたいんですけども手が回らない。今回支援できるのはコンサルティングの活用だというふうに判断したところでございます。

○塚田分科会長 土光委員。

○土光委員 今回の事業は、応募者は全体的にはいるはずだけど、なかなか採用活動に手が回らない。だからそういったことを工夫してやるための支援事業というふうに認識するのですが、そういう認識でいいんでしょうか

○塚田分科会長 倉本交通政策課長。

○倉本交通政策課長 採用の取組を強化するのを支援するという目的です。

○塚田分科会長 土光委員。

○土光委員 国頭委員も指摘しましたが、実際今、人手不足というのはタクシー業界に関わらず、あらゆる面、例えば訪問看護のヘルパーとか、言われてますよね。タクシー運転手になりたいという資格、2種免許がいると思うんです。資格を持っていないとだめ、という。タクシー運転手になれる人そのものの数が不足しているから募集しても、なかなか応募がないというふうではないという認識ですか。

○塚田分科会長 倉本交通政策課長。

○倉本交通政策課長 タクシー会社さんの募集の仕方というのがですね、2種免許あると当然条件としてはいいんですけど、普通免許を所有されておられれば事業者様の負担で2種免許を取得するというのは採用後にされてますので、2種がなければ募集、採用できないというわけではございませんので。

○塚田分科会長 土光委員。

○土光委員 この事業そのものに、特にあえて反対ということではないのですが、この事業をみて私なりに考えてみたんですが、募集の仕方で応募が少ないのではなくて、運転手そのものになろうと思う人、なれる人が少ない、という状況だとすると、今言われたように2種免許持ってないとだめだけど、今現状としては普通免許でも事業者の負担で2種免許。例えばその部分を支援するとか。タクシー運転手になろうと思う人がなれるような、そういった面で支援。単なる募集の仕方ではなくて。例えば女性がタクシー運転手になるため、いろんな環境整備をすることに関してとか、県外の人が米子市に来てタクシー運転手になりたい、そういう人がいるとすると移住の支援をするとか、そういった支援の仕方もあるのかなと思ったんですが、それが今の状況で適切なことかというのとは分かりませんが、いろんな視点から考えてみればいいかなというふうに思います。この事業に関して、これがこういう理由でだめというのは全然思わないですが。一つこの事業に関する質問で、今ヒアリングして3社にそういった意向があるから予算の積み上げの根拠はそれだと。実際この事業が可決されて、やることになるとヒアリングしたのは6社で、3社は意向がある。それ以外の事業者も当然応募はできますよね。この事業の対象者は市内の6事業者というふうに考えていいのでしょうか。

○塚田分科会長 倉本交通政策課長。

○倉本交通政策課長 ヒアリングで3社という、積算の根拠はそうなっていますが、そこはヒアリング時に意向を示されなかった事業者はだめですよというお話では当然ございませんので対象は6社というふうに考えております。

(「分かりました。」と土光委員)

○塚田分科会長 ほかございませんか。

〔「なし」と声あり〕

○塚田分科会長 ないようですので、以上で審査を終了いたします。

予算決算委員会総務政策分科会を暫時休憩いたします。

午前10時34分 休憩

午前10時34分 再開

○塚田分科会長 予算決算委員会総務政策分科会を再開いたします。

分科会長の報告のための意見の取りまとめを行います。

御意見ありましたら発言をお願いします。

〔「なし」と声あり〕

○塚田分科会長 それでは、特になかった旨報告させていただきます。

以上で予算決算委員会総務政策分科会を閉会いたします。

午前 10 時 35 分 閉会

米子市議会委員会条例第29条第1項の規定により署名する。

予算決算委員会総務政策分科会長 塚 田 佳 充